

返信 FAX:078-393-1802

内閣総理大臣 殿
厚生労働大臣 殿
財務大臣 殿
国会議員 各位

2021年11月
兵庫保険医協会
理事長 西山 裕康
歯科部会長 加藤 擁一

医療提供体制を立て直すため診療報酬の大幅プラス改定等を求める 医師・歯科医師要請署名

新型コロナウイルス感染症の蔓延は、医療機関に受診抑制に伴う大幅な減収と感染対策費用の増加による経営危機をもたらしました。この傾向は今後も続くものと思われます。

この医療機関の経営危機は、この間相次いだ診療報酬のマイナス改定で脆弱化させられてきた医療機関経営が新型コロナ禍により一層深刻化したものです。

新型コロナウイルス感染症患者をはじめとする全ての患者・国民に必要な医療を提供するために今求められているのは、2020年4月以降に生じた医療機関の減収や今後も続くであろう減収と費用増への財政的措置、そして医療機関経営を安定させるための抜本的な診療報酬の引き上げです。

同時に、新型コロナ禍により仕事を失った人は累計10万人にも上ります。家計が悪化する中、医療を必要とする人が経済的理由で医療を受けられないという状況を生み出さないために患者負担を軽減すべきです。

私たち医師・歯科医師は、以下の事項を要望いたします。

記

- 一、すべての医療機関を対象に新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴うこれまでの減収を補填すること
- 一、国民に必要な医療を安定して提供するため、基本診療料(初・再診料、入院基本料など)と算定頻度の高い診療行為を中心に、診療報酬を10%以上引き上げること
- 一、新型コロナ感染症への対応に係る診療報酬である医科・歯科・入院の感染症対策実施加算、乳幼児感染予防策加算についての評価を引き上げ、基本診療料に包括して恒久化すること
- 一、患者窓口負担を軽減すること

以上

私の一言

住 所：
医療機関名：
氏 名：

兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

350号

2021年11月25日付

発行 兵庫県保険医協会神戸支部
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

第42回総会・記念講演 感想文

アルツハイマー病の早期診断を学ぶ



症例も交えてアルツハイマー病の診断・治療について講演された

神戸支部は10月16日、協会会議室で第42回支部総会を開催し、総会・記念講演含め24人が参加した。2020年度活動報告と2021年度活動方針案の提案をし、評議員の改選を行った。記念講演では「アルツハイマー病の早期診断について—最近の話題—」をテーマに兵庫医科大学病院脳神経内科教授の武田正中先生が講演した。総会に参加された鈴木明彦先生の感想文を紹介する。(2面に選出された評議員、3面に2020年度活動報告と2021年度活動方針を掲載)

第42回神戸支部総会が開催され無事終了しました。その後の記念講演は兵庫医科大学脳神経内科教授の武田正中先生の「アルツハイマー病の早期診断について—最近の話題—」が行われました。貴重なご講演ありがとうございました。

最新のアルツハイマー病の早期診断のための治療標的分子アミロイドβの存在を確認する検査など、普段知ることができないことが拝聴でき、得るものが大でした。

今回の講演なかなか聴ける機会がないので本当に良かったです。

(2面に続く)

(1面のつづき)

厚労省のデータによると日本における65歳以上の認知症の数は約600万人(2020年現在)と推計され、2025年には約700万人(高齢者の5人に1人)が認知症になると予測されている、と書かれております。

早期発見、早期治療によって認知症の進行を遅らせることが期待され、そのためにも早期の診断が大切であります。

いろんな検査があるでしょうが、先生の講義の中で、検査が自費であることに驚きました。認知症は将来誰でもなり得る病気です。また高齢者特有の病気でもありません。加齢にともなって起こる物忘れから始まり、社会問題にまで発展しております。認知症の進行を遅らせるための予防もあわせて考えていかなければなりません。

【灘区・歯科 鈴田 明彦】

第42回支部総会で選出された評議員 (任期：2021年10月～2023年9月)

- (東灘区) 村上 正治・伊賀 文彦・大槻 智子
- (灘区) 小谷 圭・住友 直幹・高野 修一・宮崎都志幸
- (中央区) 林 重伸・加茂 統良・辛 龍文・鷺尾 隆太・林 宏明(新)
- (兵庫区) 小紫 由利・西松 央一
- (北区) 大石麻利子・細川 巖
- (長田区) 上田 耕蔵・江原 重幸・木村 彰宏・松岡 泰夫
- (垂水区) 佐々木 徹・高橋知三郎
- (西区) 上山 幸治・中村 宏臣

予備評議員

- (東灘区) 山中 昭文
- (灘区) 山中 忍
- (中央区) 松尾 玲子

診療報酬のプラス改定を求める 医師・歯科医師署名にご協力ください！ 新国会および厚労省・財務省交渉で提出します

4面にご署名(ゴム印でも結構です)いただき、FAXにてご返信をお願い致します。署名はオンラインでも可能です。オンラインでご協力いただける先生は右のQRコードから署名サイトにアクセスし、必要事項をご記入ください。入力1分以内に終わります。



兵庫県保険医協会神戸支部

<2020年度活動報告>

- 1、第41回支部総会を10/17に開催。記念講演「てんかん治療ガイドライン～高齢者のてんかんを含めて」(講師：市立伊丹病院脳神経外科主任部長 二宮宏智先生)には、31人が参加した。
- 2、研究会をオンライン併用で2回開催した。
 - ・11/7 研究会「一般診療所で新型コロナウイルス感染症とどう向き合うのか、どこまで診れるのか？」講師：中央区東神戸診療所所長 郷地秀夫先生(参加46人)
 - ・7/10 研究会「患者さんに役立つ コロナ禍のいま、知っておきたい医療・福祉の制度」講師：神戸女子大学講師 阿江善春先生(参加47人)
- 3、スタッフ研修として、院内感染対策研修会を1回(11/21)開催し、29人が参加した。4/3-4に保険請求事務講習会を開催し、50人が参加。5月に予定していた講習会は緊急事態宣言により中止となったが、10/3にオンライン併用で初めて開催し、177人が参加。いずれも支部役員らが講師を務め、好評を得た。
- 4、市政対策として、神戸市介護保険事業計画(案)(1/22)へ意見を提出した。
- 5、健康と医療について語り合う会を11/26(20人)、3/25(30人)、7/15(30人)に開催し、支部会員が講師を務めた。
- 6、社会保障推進協議会に参加するなど、地域で社会保障を守る取り組みを進めた。
- 7、10月31日の神戸市長選挙にあたっては、医療・社会保障充実の市政への転換をめざし、「神戸・市民要求を実現する会」事務局長の岡崎史典氏と10/2懇談を行い、要求案の全項目で一致し政策協定を締結し、支持推薦を決定した。「神戸・市民要求を実現する会」に参加するなど、神戸市政に対する要求実現運動での共同に努めた。
- 8、支部幹事会は第3または第4木曜日を定例化して毎月開催した。
- 9、支部ニュースはNo.340からNo.348まで9回発行した。

<2021年度活動方針>

- 1、新型コロナウイルス感染拡大のなか、オンライン配信も活用しながら、学術研究会、医院経営研究会など会員の要求にそった研究会、事務講習会や接遇研修会など職員対象の研修会の開催に努める。
- 2、新規開業医を中心に未入会者への案内を強め組織強化に努める。また、病院訪問を積極的に行い病院・勤務医の協会活動への参加をすすめる。
- 3、支部活動の活性化をはかり、幹事会への参加を広げる取り組みを強める。
- 4、健康と医療について語り合う会への講師派遣などに積極的に協力する。
- 5、支部ニュースは、インタビューや投稿など会員を主体とした記事作りをすすめる、定期発行に努める。
- 6、震災復興対策では、震災復興長田の会など地域の運動に参加し共同をすすめる。
- 7、各区の社保協など、医療や福祉で共闘する団体への参加協力をすすめる。
- 8、地域の新型コロナウイルス感染症対策や病院の統廃合問題、国保、介護保険など地域医療にかかわる重要な問題では、情報収集や行政への働きかけなどをすすめる。
- 9、神戸市政問題での運動に参加、協力する。「神戸・市民要求を実現する会」に参加し、神戸市に対する要求実現運動での共同に努める。
- 10、政策部と協力し、医療ツーリズムを含む神戸医療産業都市構想・医療特区問題などに取り組む。